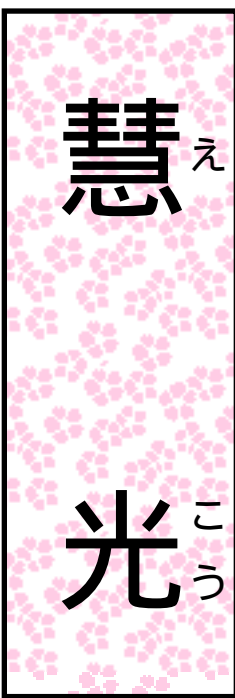




微笑みをたずさえてお聴聞 (12月15日・報恩講にて)



金光寺寺報 第151号
発行所 金光寺
宮崎県西臼杵郡
五ヶ瀬町大字鞍岡
5927番地
0982
83-2338

今月のことば み仏のみ名を称ふるわが声はわが声ながらたふとかりけり (甲斐和里子)

甲斐和里子師は、女子教育に専念されて現在の京都女子学園の基礎を築かれた、我が国の女子教育に大きな足跡を残されたすぐれた教育者でした。本願寺派の宗学者足利義山師のご息女であり、仏法の中に育てられて仏法を深く求め続けられた篤信のお方で、教育の場を離れられた後も日々法味愛楽のご生活でした。その法味をつづられたご著の一つ『草かご』には、お念仏を慶ばれるお姿がありありと著されています。

私の口について申しあげます。もとより総入れ歯で妙な口でございますが、その妙な口からお念仏がおでまします。いかなる大善大功德よりも一声のお念仏の方がより尊いと聞かしていただいておりますが、さほど尊いお念仏が、ややもすれば人をそしたり、要らぬことを言いちら

したりする下品な下品な私の口から、昼でも夜でも、またこれを書いているただ今でもドンドン御出ましく下さるといことは誠に不可思議千万で、勿体のうてたまりません。殊に人なき林の中などで声をたててお念仏していると、なんだか御浄土の如来様と御話をしているように感ぜられたして泣けてくるときがございます。(『草かご(改訂版)』185頁)

ご自分の口でお念仏しながら、その称名念仏の響きに阿弥陀如来のはたらきがとどいている、阿弥陀如来のみ手が差しのべられているお姿が、ありありとあらわされています。「南無阿弥陀仏」とともにあることの尊さを感得しておられるおことばです。

(本願寺出版社刊「大乘」誌より転載)

金光寺よろずコーナー



本願寺派布教使長谷川憲章師をご講師に、2013年当山報恩講を12月15日、16日つとめました。二日間で240名を超える参詣があり、ご講師のお取次を熱心にご聴聞いただきました。

12月、次の金光寺門信徒の方がご往生なさいました。謹んでお悔やみ申し上げます。

2013年	12月	8日	寂	満	89歳
広瀬住宅	吉岡	ミワ子	様		
2013年	12月	16日	寂	満	56歳
本屋敷	飯干	多津子	様		
2013年	12月	23日	寂	満	94歳
小切畑西	馬原	ノブ子	様		

ホームページ開いています。
URL <http://konkhoji.jp/>
1月7日現在 アクセス数 71,460人

昨年(住職)は寺報をご覧いただきありがとうございました。つたない寺報ですが、継続していることとお許しいただきたく思います。また、今後もご覧いただきければと思っています。表紙の写真は昨年の当山報恩講の1コマでした。本人にはお許しいただいてませんが、ここ数年来のいい笑顔でお聴聞されているな、撮影して使いたくないという思いをかなえたくて、今回撮影し使用しました。ユリノさんには勝手に掲載したこと、この場でお詫び申し上げます。でもいい笑顔でしよう！こんな笑顔もお聴聞したいですね。今年も三が日はスポーツ観戦に終始しました。我が家では私以外はあまりスポーツ観戦に興味がありません。通常、私は居間でテレビを観戦ができません。その中で、私に主導権があり、思う存分観戦しました。ただ、途中で不覚にも寝てしまった。結局、移動しての観戦に。今年もこんな感じでした。よろしくお願ひします。(住職 松井卓郎)

仏教用語豆辞典

三千世界

「三千世界の鳥を殺し、主と朝寝がしてみたい」。高杉晋作の作といわれる、しゃれた都々逸(どどいつ)です。浄瑠璃『伽羅先代萩』にも「三千世界に子を持った親の心は皆一つ」とあります。

古代インド人の世界観によると、世界は須弥山を中心に、四大洲、九山八海、日、月などから構成されているとされています。この一世界が千個集まったのを小千世界。小千世界が千個集まって中千世界。中千世界が千個集まったのを大千世界といいますが、大千世界は、小中大の三種の千世界を含むので、三千世界とも三千大千世界ともいいます。ですから、三千の世界ではな

なくて、十億の世界ということになります。これが一仏の教化の範囲なので、一仏国と呼ばれています。気の遠くなるような広さですね。『浄土和讃』はいいいます。たとひ大千世界にみたらん火をもちぎゆきて仏の御名をきくひとはながく不退にかなふなり(本願寺出版社発行 辻本敬順著 仏教用語豆辞典一〇〇パート「から」)

住職ひとりごと

年の始めにお念仏

拝読 お正月

新たな年を迎える節目にあたり、いま一度みずから見つめなおし、確かな足どりで人生を歩みたいものである。

蓮如上人は年の始めに、勸修寺村の道徳に次のように仰せになった。

道徳はいくつになるぞ 道徳念仏申さるべし
一つ年を重ねるにあたり、あらためて念仏をすめられたのである。

一年また一年と、年を重ねることは、決してあたり前のことではない。私自身にも、やがてこの世の縁の尽きる時が来る。阿弥陀如来は、はかなき私たちを哀れみ慈しんで、念仏せよとはたらきかけておられる。

いま私たちは、真実の教えに出あい、念仏申す身となつて、大いなる安心の中に人生を歩んでいる。新たな年の始まりを、念仏とともに迎えることは、何よりも大きなよろこびである。

『拝読 浄土真宗のみ教え』三十八頁

法語の世界

〈原文〉

蓮如上人御病中に仰せられ候ふ。御自身なにごとも思し召したち候ふことの、成りゆくほどのことはあれども、成らずといふことなし。人の信なきことばかりかなしく御なげきは思し召しのよし仰せられ候ふ。

(蓮如上人御一代記聞書 百六十三)

〈現代語訳〉

ご病床にあつた蓮如上人が、「わたしのことで思い立つたことは、ただちに成しとげることができなくても、ついに成就しなかつたということはない。だが、人々が信心を得るといふこと、このことはやはり、私の思い通りにならず、多くの人々がまだ信心を得ていない。そのことだけがつらく悲しく思われるのである」と仰せになりました。

穏やかな新しい年を迎えることができました。今年もよろしくお祈りします。

毎年、元旦の午前零時から新年を迎え、新鮮な気持ちで本堂で『仏説無量寿経』のおつとめをしています。おつとめ中に初詣での参詣があります。初詣でに参詣の皆さん、どのようなお気持ちで合掌・礼拝していらつしやるのでしょうか。「今年も家内安全・無事に過ごせますように」という方が多いのかもしれない。中には「一攫千金」を願つて参詣された方もあるかもしれない。

我が家の娘は一月十八日、十九日に大学受験の第一段階である「センター試験」を受験します。その後は、センター試験の結果で受験校が決まります。本人はもとより、私たちも気が気でありません。常々、「阿弥陀さまは人間の欲をかなえる仏さまではないから、自分の欲をかなえようという気持ちでお参りしても無駄だよ」と言い聞かせているのですが、今回ばかりは「どうか無事大学に合格します

ように」と手を合わせたのではないかと思つてしまいました。(尋ねてはいませんが)

もう、三が日も過ぎ去り初詣での参詣も終わりましたので、今更このようなことを書いても仕方ないのかもしれないが、人間の欲をかなえる現世利益を阿弥陀さまは願われませんでした。「あなたを迷いの世界からそのままでの身で必ず救うから、その身をまかせ念仏申してください」と阿弥陀さまの願い。それはとりもなおさず、安心した人生を送れる身になることです。そのお慈悲に感謝する新たな年のお念仏でありたいものです。

冒頭、親鸞聖人七百五十回大遠忌記念作成の『拝読 浄土真宗のみ教え』という本にお正月と題した法話があり、年の始めに皆さんに読んでいただきたいと掲載しました。

改めて、新たな年の始まりをお念仏とともに迎える何よりも大きなよろこびをお感じいただければ幸いです。本年もどうぞよろしくお祈りします。

光寿無量

旧年中は金光寺護持に

ご協力を賜り

ありがとうございます

本年もよろしく

お願い申しあげます

二〇一四年一月

金光寺寺内・役員一同

仏事お休みのお知らせ

下記の期日は、緊急(葬儀)を除き、仏事は行いません。ご協力をお願いします。

2月

7日~9日 京都出張(息子得度関連用務) 用(大学受験)
10日午後 18時~26時 私立 用(大学受験)

3月

1日 私立 用(娘 高校卒業式)
4日~5日 京都出張(息子得度関連用務) 用(大学受験)
7日~9日 私立 用(大学受験)
11日~13日 私立 用(大学受験)
21日 彼岸会法要

その他

4月上旬は私用でご仏事をお受けできない日があるかと思ひます。(大学住居探し等です。日程が確定していませんので具体的な日時が書けません)お許しください。